CG-WLCVR54AG

取扱説明書

同梱されております「はじめにお読みください」を必ずお読みになり、
正しく取り付け・操作を行ってください。

PN Y613-03278-02 Rev.A

作業の流れ

本書では、本製品を使って無線LANに接続できるようになるまでの作業をPARTに分けて説明しています。各PARTでの作業は次のとおりです。順番に読んで、作業を進めてください。

PART1

まず準備が必要

① 本製品を設定できるパソコンの条件や、本製品に取り付けられる機器、通信相手の機器の設定などを確認してください。
② 各部の名称と機能を確認します。

本製品と無線接続する機器側（ルーターなど）でセキュリティーの設定（ESSID、WEPなど）をしていない場合は、「PART2 本製品の設定をする」の作業は必要ありませんが、無線LANでは電波を使って通信を行うため、電波が届く範囲であれば、通信内容を傍受されたり、不正侵入されたりする恐れがあります。このようなことがないように、「PART2 本製品の設定をする」「PART3 設定ユーティリティーを見てみよう」へ進み、セキュリティーを設定して使用することをおすすめします。

PART2

本製品の設定をする

① 本製品を設定する設定用パソコンのネットワーク設定を行います。使用するOSに対応した箇所を読んでください。
② 本製品と設定用パソコンを接続して、本製品の設定を行います。

設定ユーティリティーを見てみよう

① 本製品の詳細な設定を行います。
② 本製品の再起動、初期化などを行います。

PART3までの作業が終われば、パソコンやゲーム専用機などを本製品に接続して無線LANに接続できるようになります。PART4以降は、必要に応じて読んでください。

PART4

トラブルや疑問があったら

PART3までの作業で、無線LANへの接続ができなかった場合や、本製品の操作でわからないことがあった場合には、このPARTを読んで解決方法を探してください。

5.2GHzを屋外で使用することは電波法により禁止されています。IEEE802.11aは屋外で使用することはできませんのでご注意ください。

はじめに

このたびは、「CG-WLCVR54AG」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本書は、本製品を正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでも参照していただけるように、大切に保管してください。
本製品に関する最新情報（ソフトウェアのバージョンアップ情報など）は、弊社のホームページでお知らせします。無線 LAN に関する情報や活用例などもご紹介しております。

http://www.corega.co.jp/

本書の読み方

●記号について

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

記号	意味
注意!	操作中に気を付けていただきたい内容です。必ずお読みください。
メモ	補足事項や、参考となる情報を説明しています。

●表記について

表記	説明
本製品	CG-WLCVR54AG のことです。
「　」－「　」－「　」	「　」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。
[ ]	[ ] で囲んである文字は、画面上のボタンを表します。 例：OK → [OK]
LAN ケーブル	本書では、UTP ケーブル（アンシールド･ツイストペア･ケーブル）のことを指します。本製品の接続にはUTPケーブルを使用してください。
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版 Service Pack 1およびMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版 Service Pack 1のことです。
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版のことです。
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版のことです。
Windows 98SE	Microsoft® Windows® 98 operating system日本語版のことです。

※本書では、複数の OS を「Windows XP/2000」のように併記する場合があります。

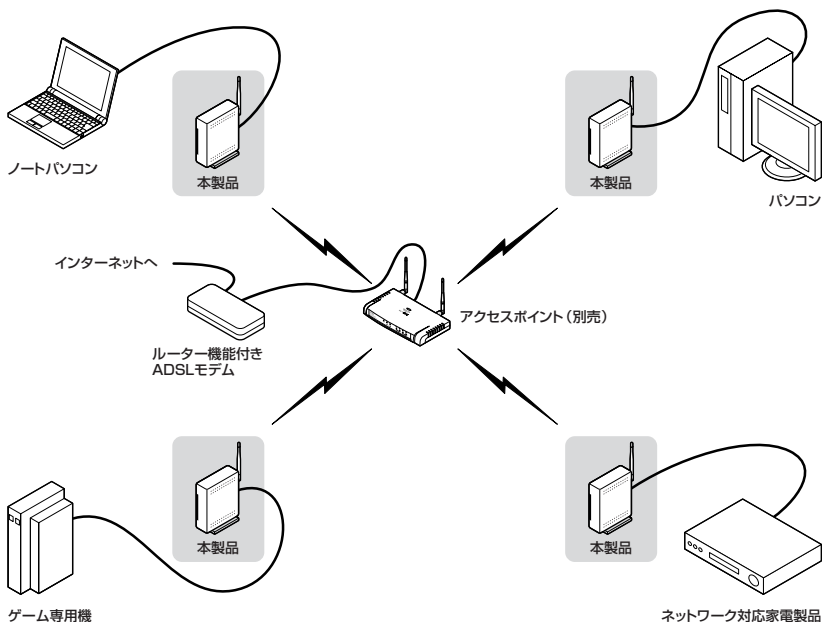
●イラスト、画面について

本文中に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

目次

PART1　まず準備が必要

本製品でできること

本製品は、LAN ポートに接続する IEEE 802.11a、IEEE 802.11g 、IEEE 802.11b 対応の無線 LAN イーサネット変換アダプターです。LAN ポートを搭載したパソコンやゲーム専用機などを本製品と LAN ケーブルで接続すれば、既存の無線 LAN に無線接続することが可能です。さらに本製品は、無線 LAN 標準の暗号化プロトコル、WEP（64 ビット/128 ビット/152 ビット）に対応していますので、通信データの傍受を防ぐことができます。

注意!
- 本製品を無線 LAN アクセスポイントとして使用することはできません。
- 本製品にハブを経由して複数のパソコンを接続することはできません。
- 本製品を取り付けたパソコン間での無線通信は行えません。
- 本製品をスイッチングハブに接続しての使用は、動作保証しておりません。

■「Ad-Hoc」モードについて

「離れた場所にあるパソコン同士でファイル交換ができればいい」という場合には、アクセスポイントは不要です。このような場合は通信モードを「Ad-Hoc」に設定します。「Ad-Hoc」モードはパソコン向けの通信モードですので、本製品をゲーム専用機やネットワーク対応家電製品でご使用される場合は、通信モードを「Infrastructure」に設定してご使用ください。設定方法につきましては「PART3 設定ユーティリティーを見てみよう」「無線設定」(P.23) をご覧ください。

使用環境を確認しよう

本製品を接続する前に、以下の項目を確認し、☑のようにチェックを付けてください。

注意! 企業などで本製品を利用する場合は、ネットワーク管理者にご相談のうえ、必要な機器の準備、設定を行ってください。

☐ チェック1

設定に必要な環境は準備できていますか？

本製品を設定するためには、以下の条件を満たしているパソコンが必要です。

- ・LAN ポートを装備している
- ・TCP/IP が組み込まれている
- ・Windows XP/2000/Me/98SE のいずれかの OS を搭載している
- ・Internet Explorer (バージョン 5.5 以降) をインストールしている

メモ TCP/IP は、特別な理由で削除していない限り、標準で組み込まれています。

注意! 本製品をゲーム専用機に接続する場合も本製品の設定には、上記の条件を満たしているパソコンが必要です。

☐ チェック2

本製品を使用する環境は問題ないですか？

● 本製品と無線通信できる無線 LAN 機器 (通信相手機器)

IEEE802.11a/g/b 準拠の無線 LAN 製品 (ルーターなど) と通信できます。

注意! ・通信相手の機器で無線 LAN に必要な設定をしておいてください。設定方法については、各機器の取扱説明書をご覧ください。

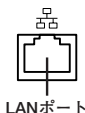
メモ ・接続の可否については、無線LAN機器のメーカーまたは販売店にお問い合わせください。また、コレガのホームページで、本製品と通信可能な機器を紹介しています。他の無線 LAN 機器を購入する前に、こちらもご覧ください。

● **本製品に接続できるネットワーク機器**

10BASE-T/100BASE-TX（RJ-45）対応のLANポートを装備した機器と接続できます。

〈使用可能な機器の例〉

・LANポートを持つゲーム専用機
・PC/AT互換機、PC98-NX（NEC製）などのパソコン
・ネットワークプリンター、有線LANプリントサーバー
・ネットワーク対応家電製品

メモ　LANポートは、イーサネット、ネットワーク接続端子、LANケーブル接続端子などとも呼ばれます。
LANポートには 品 のマークが付いています。

通信距離は問題ないですか？

本製品の最大通信距離は、理論上、屋外で150m、屋内で50mです。本製品を取り付けるパソコンと、通信相手の機器との距離が離れすぎたり、周辺に障害物があったりしないか、確認しておいてください。また、IEEE 802.11aは、電波法により屋外では使用できません。

メモ　周辺の環境（障害物など）、通信相手機器の性能、通信相手機器との距離などにより、通信速度、距離が大きく変動します。

チェック4

設定に必要な情報は準備できていますか？

本製品の設定をするには、次の情報が必要になります。

注意!　会社などで既存のLANに無線で接続する場合は、ネットワーク管理者にご相談のうえ、必要な情報を準備してください。

ESSID	無線LANに接続する機器を識別する名前です。「SSID」と呼ばれることもあります。通信相手の機器と同じにします。通信相手の機器で設定されている「ESSID」を確認し、メモしておいてください。
WEP （通信相手にも設定されている場合）	通信するデータを保護するための暗号です。暗号キー（WEPキー）は、通信相手の機器と同じにします。通信相手の機器で暗号キーを設定している場合は、設定されている暗号キーを確認し、メモしておいてください。
WPA （通信相手にも設定されている場合）	通信するデータを保護するための暗号です。一定時間ごとに更新されますので、WEPより解読されにくくなります。通信相手機器と同じ設定にします。

PART2　本製品の設定をする

本製品を利用して無線LANに接続するには、本製品の設定を通信相手側機器（ルーターなど）に合わせる必要があります。通信相手側機器（ルーターなど）で、セキュリティーの設定（ESSID、WEPなど）をしている場合は、本製品にも同じ設定をします。セキュリティーの設定をしていない場合は、同梱の「クイック設定ガイド」をご覧ください。

2

設定用パソコンの準備をしよう

本製品の設定は、本製品とパソコンを直接LANケーブルで接続して行います。1台のパソコンを本製品の設定用パソコンとして準備してください。
本製品の設定が工場出荷時の状態の場合には、設定用パソコンを以下のように設定することで、本製品の設定ができるようになっています。

- IPアドレス　　　：「192.168.1.235」を除く、「192.168.1.1」～「192.168.1.254」のいずれかに設定
- サブネットマスク：「255.255.255.0」に設定

注意!
- 本書では設定用パソコンのIPアドレスとサブネットマスクを以下のように設定したものとして説明します。

  IPアドレス値：192.168.1.3
  サブネットマスク値：255.255.255.0

  設定の際には、実際の値に読み替えてください。
- パソコンの設定を行う前に、現在のネットワーク設定をメモしておいてください。
- ここで行ったネットワーク設定は、本製品を設定するための一時的な設定です。設定用パソコンを実際のネットワーク環境で使用する場合には、本製品の設定完了後にパソコンの設定を元にもどしてください。
- 本製品の工場出荷時のIPアドレスは、192.168.1.235です。ご使用になるネットワーク環境で、これと同じIPアドレスを持つ機器が存在する場合は、本製品のIPアドレスを影響のない値に変更してお使いください。

以上の設定条件を確認したらご使用のOSに応じて以下のページに進み設定用パソコンのネットワーク設定をしてください。

- Windows XP/2000の場合→P.8
- Windows Me/98SEの場合→P.10

■Windows XP/2000の場合

注意! Windows XPやWindows 2000では、「コンピューターの管理者」や「Administrator」、または同等の権限を持つユーザー名で設定用パソコンにログオンしてください。ユーザー権限については、OSの取扱説明書をご覧ください。

1 「スタート」−「コントロールパネル」をクリックします。
(Windows 2000の場合は、「スタート」−「設定」−「コントロールパネル」をクリックします。)

2 「コントロールパネル」から「ネットワークとインターネット接続」−「ネットワーク接続」をクリックします。
(Windows 2000の場合は、「コントロールパネル」にある「ネットワーク接続」をダブルクリックします。)

メモ Windows XPで「ネットワークとインターネット接続」が表示されていない場合は、画面左側の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックしてください。

3 「ローカル エリア接続」を右クリックし、メニューから「プロパティ」を選択します。

4 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、[プロパティ]をクリックします。

5　「次のIPアドレスを使う」を選択し、次のようにIPアドレスとサブネットマスクの設定をして[OK]をクリックします。

6　「ローカル エリア接続のプロパティ」画面で、[OK]をクリックします。

7　再起動を促すメッセージが表示された場合は、再起動します。
メッセージが表示されなかった場合も、手動で再起動してください。

設定用パソコンのネットワーク設定はこれで完了です。次に「本製品の設定をしよう」（P.12）に進んでください。

2

■ Windows Me/98SE の場合

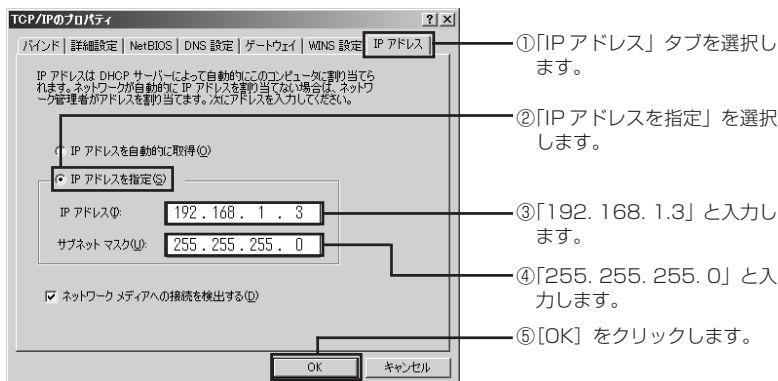
ここでは例としてWindows Meを使用しています。Windows 98SEをご使用の場合も手順は同様です。

1　「スタート」－「設定」－「コントロールパネル」をクリックします。

メモ　Windows Meで「ネットワーク」アイコンが表示されない場合は、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックしてください。

2　「コントロールパネル」にある「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。

3　「TCP/IP －>××××××(ご使用のネットワークアダプタ名が表示されます。)」を選択し、[プロパティ]をクリックします。

4 「IPアドレス」タブを選択し、次のようにIPアドレスとサブネットマスクの設定をします。

5 「ネットワーク」画面の、[OK]をクリックします。

メモ　WindowsのOS用ディスクを入れてください、という旨のメッセージが表示された場合は、画面の指示にしたがって操作してください。
再起動を促すメッセージが表示されたら再起動します。

設定用パソコンのネットワーク設定はこれで完了です。次に「本製品の設定をしよう」(P.12)に進んでください。

2

本製品の設定をしよう

■本製品を設定用パソコンと接続しよう

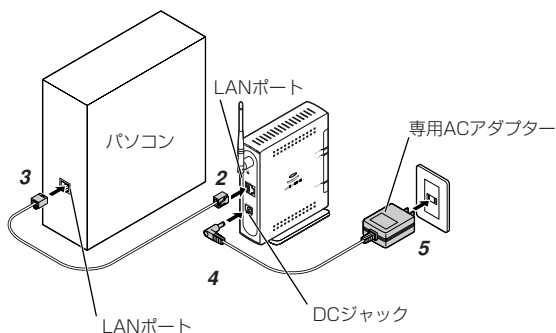
本製品をパソコンに接続して設定を行います。本製品にゲーム専用機を接続して使用する場合にも、本製品の設定は、パソコンに接続して行います。ゲーム専用機との接続は、本製品の設定完了後に行ってください。
以下の手順で本製品と設定用パソコンをLAN ケーブルで接続します。

1 本製品と設定用パソコンの電源をすべて切るか、電源コンセントから抜いてください。

2 本製品のLANポートに添付のLANケーブルを接続します。

3 LANケーブルのもう一方をパソコンのLANポートに接続します。

4 本製品のDCジャックに専用ACアダプターを接続します。

5 本製品のACアダプターをコンセントに接続し、本製品の電源を入れます。
本製品のPower LEDとLAN LEDが点灯します。

6 パソコンの電源を入れます。

次に「設定ユーティリティーを起動する」（P.13）に進んでください。

■設定ユーティリティーを起動する

本製品の設定はWebブラウザーで行います。Webブラウザーには Internet Explorer 5.5 以降をご利用ください。これ以外の Web ブラウザーでは、正常に設定が行えません。

注意!
・設定用パソコンでウイルス駆除ソフト、ファイアーウォールソフトなどのセキュリティーソフトが稼働していると、本製品の設定に失敗することがあります。一時的にセキュリティーソフトを停止させて本製品の設定を行い、設定作業が終了してから再度稼働させてください。セキュリティーソフトの停止、稼働の方法は、セキュリティーソフトの取扱説明書をご覧ください。
・Webブラウザーでの設定時には、設定ページを素早く切り替えないでください。素早いクリックによるページの切り替えは、誤作動の原因となります。十分な時間間隔を置いてマウスをクリックし、設定操作を確実に行ってください。
設定ユーティリティーが起動できない場合は、「PART4 トラブルや疑問があったら」「設定ユーティリティーが起動できない」(P.32)をご覧ください。

メモ 設定ユーティリティーの各設定項目について詳しくは、PART3「設定ユーティリティーを見てみよう」(P.19)をご覧ください。

1 設定用パソコンで、Internet Explorerを起動します。

2 アドレス入力欄に「192. 168. 1. 235」と入力し、[移動]をクリックします。

①「192. 168. 1. 235」と入力します。 ②[移動]をクリックします。

3 「ログイン」画面が表示されたら、「root」と入力し、「OK」をクリックします。

①「root」と入力します。

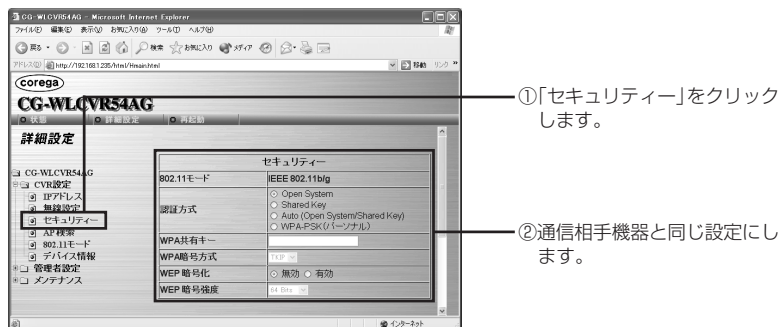
②[OK]をクリックします。

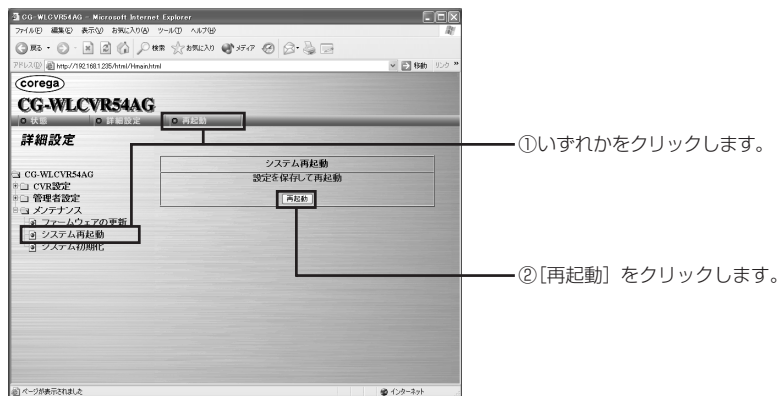
メモ
・工場出荷時の状態では、ユーザー名は「root」、パスワードは設定されていません。
・パスワードを設定/変更したい場合は、設定ユーティリティーの「詳細設定」―「管理者設定」―「パスワード」をクリックして表示される画面で、新しいパスワードを設定します(設定方法は「パスワード」〈P.27〉をご覧ください)。
・パスワード入力では、大文字と小文字の区別があるので入力ミスがないように注意してください。

4 「設定ユーティリティー」が起動したら、「詳細設定」－「CVR設定」をクリックし、以下のように設定します。

注意! Webブラウザーに「オフライン」、「プロキシサーバー」などの設定を行っている場合、本製品の「設定ユーテリティー」が表示されないことがあります。その場合は、「PART4　トラブルや疑問があったら」「設定ユーテリティーが起動できない」（P.32）をご覧ください。

5 次に、左側のメニューから「無線設定」をクリックし、以下のように設定します

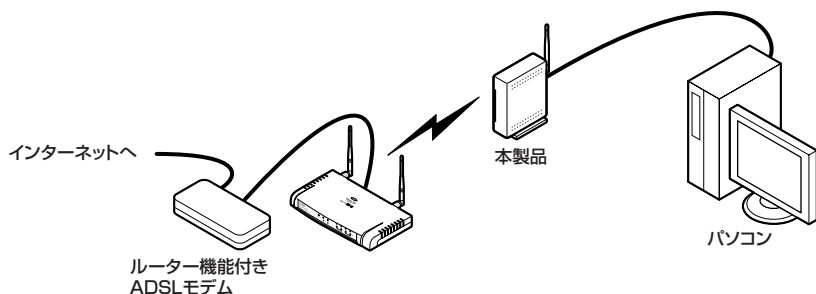
6　「無線設定」が終了したら、左側のメニューから「セキュリティー」をクリックし、以下のように設定します。

続けて同じ画面内の「WEPキー」を設定し、終了したら「適用」をクリックします。

7　ツールバーの「再起動」、もしくは「詳細設定」－「メンテナンス」－「システム再起動」をクリックし、[再起動] ボタンをクリックして本製品を再起動します。

以上で設定は完了です。

注意!　各項目の設定を変更した際は、必ず本製品を再起動してください。再起動を実行しないと、設定変更内容が本製品に反映されないことがあります。
本製品の設定が完了したあとは、設定用パソコンのIPアドレスとサブネットマスクをご使用のネットワーク環境（ルーターなど）に合わせて元通りに戻してください。

次に「ネットワークに接続する」（P.17）に進んでください。

■パソコン、ゲーム専用機などと本製品を接続する

本製品の設定が完了したらインターネットに接続するなどして本製品に接続したパソコンやゲーム専用機などから実際のネットワークに接続できるか確認します。ここでは次のような構成でインターネットに接続する場合を例に説明します。

注意! 本製品にハブを経由して複数のパソコンを接続することはできません。

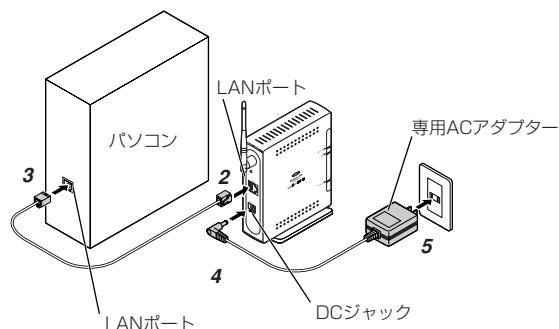
1 本製品に接続するパソコンのネットワーク設定を、使用するネットワーク体系にあわせた値に設定します。

メモ 「本製品の設定をしよう」(P.12)で本製品の設定を行ったパソコンを接続する場合は、ご使用のネットワーク体系(ルーターなど)に合わせてパソコンのネットワークの設定を元通りに戻してください。

2 本製品とパソコンの電源をすべて切るか、電源コンセントから抜いてください。

3 本製品のLANポートに添付のLANケーブルを接続します。

4 LANケーブルのもう一方をパソコンのLANポートに接続します。

5 本製品のDCジャックに専用ACアダプターを接続します。

6 専用ACアダプターをコンセントに接続し、本製品の電源を入れます。
本製品のPower LEDとLAN LEDが点灯します。

7 パソコンの電源を入れます。

通信できるか確認する

ルーターを使ってインターネットに接続している場合は、次の手順で通信の確認ができます。

1 Webブラウザーを起動します。

2 コレガのホームページアドレス「http://www.corega.co.jp/」を入力します。
ルーターでインターネットの設定がされていれば、コレガのホームページが表示されます。

注意! ルーターやアクセスポイントでMACアドレスによる接続制限(MACアドレスフィルタリング)を行う場合は、本製品ではなく、本製品に接続した機器(パソコン、ゲーム専用機など)のMAC アドレスを登録してください。

PART3　設定ユーティリティーを見てみよう

本製品には、設定ユーティリティーが内蔵されています。設定ユーティリティーで、セキュリティーなど本製品の詳細な設定が行えます。

Web ブラウザーで設定しよう

■設定ユーティリティーを開く

本製品の設定ユーティリティーは、Internet ExplorerなどのWebブラウザーから起動します。詳しくは、「PART2 本製品の設定をする」（P.7）をご覧ください。

●本製品の設定ユーティリティー

●設定のしかた

各設定画面で設定を変更したら、「適用」ボタンをクリックします。

注意!

・設定ユーティリティーの各設定画面を切り替えるときは、十分な時間間隔をおいてクリックしてください。短い間隔で設定画面を切り替えようとすると、誤動作の原因となります。
・設定画面が切り替わらないなど、設定途中で本製品にアクセスできなくなった場合は、背面のInitスイッチを押して、工場出荷時に戻して設定しなおしてください。詳しくは「システム初期化」（P.29）をご覧ください。

●設定ユーティリティーを終了する

本製品の設定終了後、Web ブラウザーを終了すると、設定ユーティリティーを終了できます。

Web ブラウザーでの設定項目について

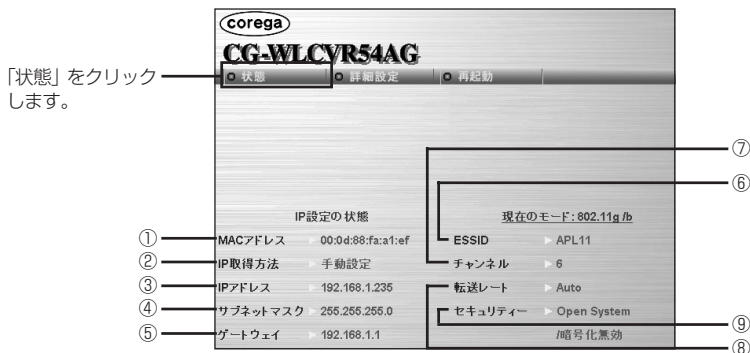
Web ブラウザーでは、以下の設定ができます。

＜メニュー名＞	＜おもな機能＞
状態	設定ユーティリティー起動時の画面です。本製品の現在の設定値を確認できます。(P.21)
詳細設定	本製品で無線ＬＡＮ に接続するためのいろいろな設定や、ファームウェアのアップデートを行います。(P.22)
再起動	本製品の再起動を行います。(P.29)

次項からの説明では表の入力例を使用した場合の画面例を掲載しています。実際にはご使用の環境に合った値を入力してください。

■状態

設定ユーティリティー起動時の画面です。本製品の現在の設定値が確認できます。

1　メニューバーから「状態」をクリックします。

項目名		説明
IP設定	①MACアドレス	本製品のMACアドレスが表示されます。
	②IP取得方式	DHCP（自動取得）、手動取得（固定）のいずれかを表示します。「IP設定」画面で設定します（P.22） ※工場出荷時は「手動設定」に設定されています。通常は変更する必要はありません。
	③IPアドレス	本製品に設定されているIPアドレスが表示されます。IPアドレスは「IP設定」画面で設定します（P.22）。
	④サブネットマスク	本製品に設定されているサブネットマスクが表示されます。
	⑤ゲートウェイ	使用しているネットワークのデフォルトゲートウェイアドレスを表示します。
無線設定	⑥ESSID	本製品に設定されているESSIDが表示されます。ESSIDは「無線設定」画面で設定します（P.23）。
	⑦チャンネル	本製品の現在のチャンネルが表示されます。チャンネルは「無線設定」画面で設定します。詳しくは「無線設定」（P.23）をご覧ください。
	⑧転送レート	無線LANで本製品が通信するときの本製品の転送速度です。 ※工場出荷時は「Auto」に設定されています。通常は変更する必要はありません。
	⑨セキュリティー	本製品の現在の認証方式を表示します。

3

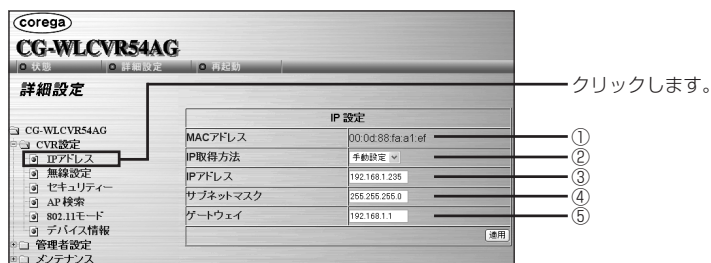
■詳細設定

〈CVR設定〉

本製品のいろいろな設定を行います。

● IP設定

本製品のIPアドレスやサブネットマスクなどの設定を行えますが、通常は変更する必要はありません。

1　「詳細設定」メニューの「CVR設定」−「IPアドレス」をクリックします。

項目名	入力例	説明
①MACアドレス	ー	本製品MACアドレスが表示されます。
②IP取得方法	手動設定	本製品のIP取得方法を選択します。 ・手動設定：「IPアドレス」「サブネットマスク」「ゲートウェイ」を手動で設定します。 ・DHCP：IPアドレスを自動的に取得します。 ※工場出荷時は「手動設定」に設定されています。
③IPアドレス	192.168.1.235	本製品のIPアドレスを入力します。 ※工場出荷時は「192.168.1.235」に設定されています。
④サブネットマスク	255.255.255.0	本製品が使用しているネットワークのサブネットマスクを選択してください。 ※工場出荷時は「255.255.255.0」に設定されています。
⑤ゲートウェイ	192.168.1.1	使用しているネットワークのデフォルトゲートウェイアドレスを設定します。通常は、他のネットワークとの接続に使用しているルーターのLAN側IPアドレスとなります。 ※同一LAN内のパソコンからだけ本製品を使用する場合は、変更する必要はありません。 ※工場出荷時は「192.168.1.1」に設定されています。

2　設定後、[適用]ボタンをクリックし、本製品を再起動して設定を反映させます。

●無線設定

本製品のより高度な設定を行います。

注意! 各設定項目について十分に理解しており、かつ変更の必要がある場合にだけ、変更を行ってください。不用意に変更を行うと、通信ができなくなる場合があります。

1 「詳細設定」メニューの「CVR設定」から「無線設定」をクリックします。

2 必要に応じて以下の設定を行います。

項目名	入力例	説明
①通信モード	Infrastructure	無線LANの通信モードを選択します。「Ad-Hoc」と「Infrastructure」が選択できます。
②ESSID	corega	無線LANに接続する機器を識別する名前です。接続する全ての無線LANアダプターに同じ名前を設定してください。 ※工場出荷時は「corega」に設定されています。
③周波数	–	チャンネルで設定した周波数を表示します。
④チャンネル	6	本製品が使用するチャンネルを設定します。「802.11a」の時は、34、38、42、46のいずれかを、「802.11g/b」の時は1～13の間で任意の値に変更してください。電波の届く範囲に他のアクセスポイントが存在する場合は、混信の恐れがあるので、5チャンネル以上離れたチャンネルを設定してください。 ※チャンネルによって通信に使用する電波の周波数が異なります。 ※工場出荷時のチャンネルは「802.11a」の時は「34」、「802.11g/b」の時は「6」に設定されています。
⑤転送レート	Auto	無線LANで本製品が通信するときの本製品の転送速度が表示されます。
⑥Super A/G	無効	「有効」に設定すると「Super A/G」モードを搭載した無線機器と通信した時、バースト転送およびデータ圧縮を行います。 ※「Ad-Hoc」モード設定時では「無効」のみとなります。

3

●セキュリティー

本製品のWEPやWPAなどの設定を行います。無線通信する相手先機器（無線ルーターや無線アクセスポイント）に合わせて設定を行ってください。

注意! 無線LANでは電波を使って通信を行うため、電波が届く範囲であれば、通信内容を傍受されたり、不正侵入されたりする恐れがあります。このようなことがないようにWEPやWPA設定を行うことをおすすめします。

● WPAを設定する

メモ WPAは、暗号プロトコル（TKIP）を採用したセキュリティー規格です。一定時間ごとに通信内容の暗号を更新するのでWEPより解読されにくくなります。

WPAには一般家庭向きの「PSK」と企業向きの「EAP」の二種類がありますが、本製品で設定可能なWPAは「PSK」のみとなります。

メモ PSKは、一般家庭向きのWPA規格です。ユーザーが任意で設定した認証キーに基づいて通信内容を暗号化し、TKIPを使用し、通信データの暗号化を一定時間ごとに更新します。

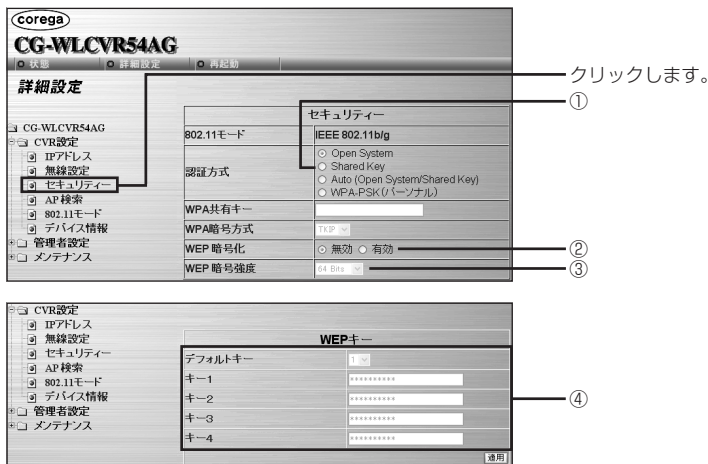
「WPA認証方式」の「PSK」を選択する場合は、以下の画面が表示されるのでそれぞれ設定をします。入力した設定内容は再起動して本製品に反映させてください。

項目名	説明
①認証方式	設定したいセキュリティーを選択します。
②WPA共有キー	任意の暗号キーを入力してください。共有キーには8～64文字までの半角英数字、記号（0～9、a～z、A～Z、！”＃＄％＆’（）＊＋，－．／：；<＝>？＠［￥］＾＿｛¦｝˜）が使用できます。
③WPA暗号方式	本製品の暗号方式を設定します。 本製品で設定できる方式は「TKIP」のみとなります。 TKIP:一定時間ごとに暗号キーを変更する暗号化プロトコルです。

注意! WPA-PSK（パーソナル）は「Ad-Hoc」モード設定時では「無効」となります。

● WEP を設定する

WEP キーは、通信内容（データ）を保護するための暗号です。WEP によって通信内容を暗号化すると、仮に通信データを傍受された場合でも、通信内容の復元を容易に行うことができなくなります。本製品は、「64Bits」「128Bits」「152Bits」に対応しています。暗号キーの桁の多いWEPを利用する方が安全性が高くなります。

1 「詳細設定」メニューの「CVR設定」から「セキュリティー設定」をクリックします。

項目名	説明
①認証方式	WEPを使用したい時は「Shared Key」を選択、WPAを使用したいときは「WPA」を選択し、「適用」をクリックします。 ※工場出荷時は「Open System」に設定されています。
②WEP暗号化	①で「Shared Key」を選択すると自動的に「有効」になり、「Open Sytem」と「Auto」を選択すると、「無効」と「有効」が選択できます。
③WEP暗号強度	64Bits、128Bits、152Bitsのいずれかを選択できます。
④WEPキー	デフォルトキーを1～4のいずれかを選択し、同じキー番号に③の「WEP暗号強度」を基に暗号キーを入れます。 ·64 Bits：16進数で（0～9、a～f）10桁の暗号キーを利用可能 ·128 Bits：16進数で（0～9、a～f）26桁の暗号キーを利用可能 ·152 Bits：16進数で（0～9、a～f）32桁の暗号キーを利用可能

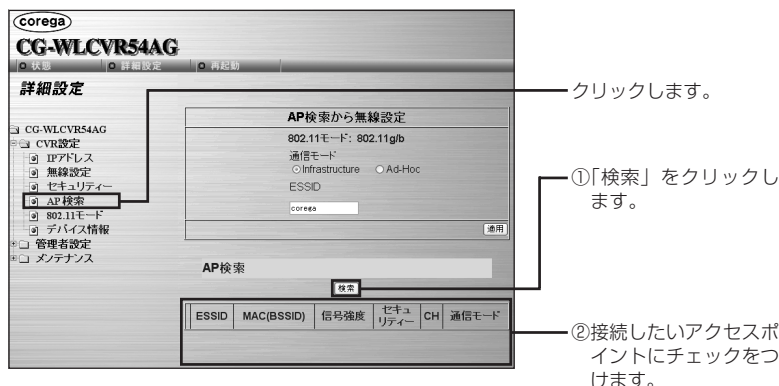
注意!
・本製品 の工場出荷時は、WEP は設定されていません。
・本製品に WEP を設定した場合、本製品に無線接続するすべてのパソコンの無線LANアダプターに、本製品に設定したのと同じ暗号キーを設定する必要があります。

2 設定後、[適用] ボタンをクリックし、本製品を再起動して設定を反映させます。

3

● AP検索

近くにあるアクセスポイントの検索ができます。

1 「詳細設定」メニューの「CVR設定」から「AP検索」をクリックします。

メモ ・「ステルスAP」が設定されているアクセスポイントのESSIDは表示されません。
・リストには「802.11モード」で選択された無線ネットワークのみ表示されます。

2 設定後、[適用]ボタンをクリックし、本製品を再起動して設定を反映させます。

● 802.11モード

無線LANの通信モードの切り替えができます。

1 「詳細設定」メニューの「CVR設定」から「802.11モード」をクリックします。

項目名	入力例	説明
①802.11モード	802.11g/b	本製品の無線LANの通信規格を設定します。IEEE802.11aかIEEE802.11b/gを選択します。

2 設定後、[適用]ボタンをクリックし、本製品を再起動して設定を反映させます。

●デバイス情報

本製品のシステム名の変更やシステム情報を表示します。

1　「詳細設定」メニューの「CVR設定」から「デバイス情報」をクリックします。

2　「システム名」を入力します。システム名には39文字までの半角英数字、記号（0～9、a～z、A～Z、! ” # $ % & ’ ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [￥] ^ _ { ¦ } ˜ ）が使用できます。

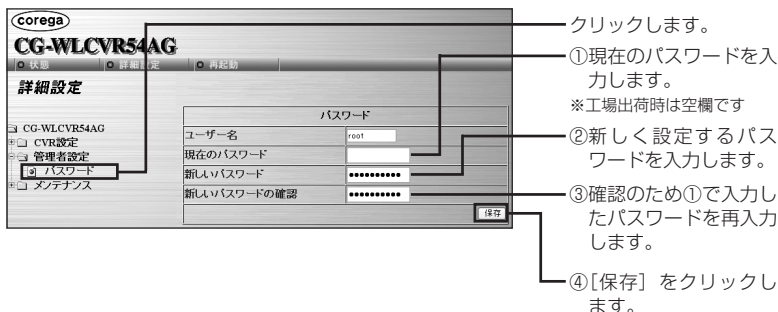
3　設定後、[適用]ボタンをクリックし、本製品を再起動して設定を反映させます。

〈管理者設定〉

パスワードの設定を行います。

●パスワード

パスワードの設定を変更することができます。

1　「詳細設定」メニューの「管理者設定」－「パスワード」をクリックします。

メモ　パスワードには、15文字までの半角英数字、記号（0～9、a～z、A～Z、! ” # $ % & ’ ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [＼] ^ _ { ¦ } ˜ ）が使用できます。大文字/小文字が区別されますので注意してください。

2 設定後、[保存]ボタンをクリックし、本製品を再起動して設定を反映させてください。ユーティリティーを開くとき、新しく設定したパスワードを入力して、[OK]ボタンをクリックします。

メモ　入力したパスワードは、画面上では「＊」で表示されます。

〈メンテナンス〉

ファームウェアの更新や、本製品の再起動、初期化ができます。

●ファームウェアの更新

本製品の機能強化のため、予告なくファームウェアのバージョンアップを行うことがあります。最新のファームウェアはコレガのホームページ(http://www.corega.co.jp/)から入手してください。

注意!
- ・ファームウェアを更新する前に、本製品の設定内容をメモしておいてください。
- ・ファームウェアを更新中は、他の操作を行ったり、本製品の電源を切ったりしないでください。ファームウェアの更新に失敗したり、本製品の故障の原因となる場合があります。

ここでは例として「C:¥corega」（C ドライブの中の corega フォルダ内）に最新のファームウェアを保存した場合で説明します。

1 「詳細設定」メニューの「メンテナンス」ー「ファームウェアの更新」をクリックします。

2 更新ファイル欄に直接入力するか、[参照]ボタンをクリックして最新のファームウェアの保存先を選択します。

3 しばらくすると再起動をうながすメッセージが表示されますので、[OK]をクリックして再起動をしてください。

以上でファームウェアの更新は終了です。

●システム再起動

本製品を再起動することができます。

1 「詳細設定」メニューの「メンテナンス」ー「システム再起動」をクリックするか、メニューバーの「再起動」をクリックし、[再起動]ボタンをクリックします。

2 「本製品を再起動します。接続が一時中断されます。実行しますか？」と表示されたら、[OK]をクリックします。

以上で再起動が完了します。

注意! 本製品の再起動中は、一時的に無線 LAN に接続できなくなります。

●システム初期化

本製品を工場出荷時の状態に戻すことができます。初期化を実行すると今まで設定していた情報がすべて無効になります。再度設定をし直してください。また、重要な設定をしている場合は、設定内容を書き残すなど、後で再設定できるように控えておくことをおすすめします。
また、工場出荷時の状態に戻すには、次の２つの方法がありますが、違いはありませんので、どちらを使ってもかまいません。

<設定ユーティリティーを使う>

1 「詳細設定」メニューの「メンテナンス」ー「システム初期化をクリックし、「初期化」ボタンをクリックします。

2 「本製品を再起動します。接続が一時中断されます。実行しますか？」と表示されたら、「OK」をクリックします。

3

＜ Init スイッチを使う＞

1. 本製品の電源が入っている状態で、Initスイッチを押し続け、LAN LEDとWLAN LEDが消灯したらInitスイッチを離します。Initスイッチはゼムクリップなど堅くて先の細いもので押してください。
2. LAN LEDとWLAN LEDが再点灯し、システムが起動します。

これで工場出荷時の状態に戻りました。

設定が終了したら

ここで行ったネットワーク設定は、本製品を設定するための一時的な設定です。設定用パソコンを実際のネットワーク環境で使用する場合には、本製品の設定完了後にパソコンの設定を元にもどしてください。

MAC アドレスについて

本製品のMACアドレスは、本体裏面のラベルに記入されています。MACアドレスは本製品の内部に書き込まれているため、ユーザーが変更することはできません。
同梱されている「はじめにお読みください」をご覧になるか、設定ユーティリティーを起動して、MAC アドレスを確認してください。

PART4　トラブルや疑問があったら

本製品を使っていて「困ったな」「うまく動かない…」と思ったとき、疑問があったときは、このPART で解決方法を探してください。

解決のステップ

①マニュアルを再確認する。管理者に確認する

②このPART の Q&A を確認する
<トラブルは？>
通信ができない
設定ユーティリティーが起動できない
本製品のパスワードを忘れてしまった
ファームウェアの更新に失敗した

③コレガのホームページの情報を活用する

④それでも解決しなければ、サポート窓口に問い合わせてみる

4

取扱説明書を再確認する。管理者に確認する

本書以外にも通信相手の機器の取扱説明書、パソコンに添付の取扱説明書をお手元にご用意ください。ネットワークにつながらない原因は複雑なため、本製品の設定が正しくても、他の設定が間違っていたり、通信相手の機器の問題で正しく動作しないこともあります。

注意! 企業などでお使いの場合は、ネットワークの設定がオフィスによって決められていることがあります。ネットワーク管理部門などに確認してください。

Q&A

■通信ができない

● 本製品とパソコンなどは正しく接続されていますか？

パソコンなど、本製品とLANケーブルで接続する機器が、正しく接続されているか確認してください。本製品の電源が入っている状態で本製品のPower LEDとLAN LEDが点灯していれば正しく接続されています。

● パソコンのネットワーク設定は正しいですか？

接続するネットワーク環境に合った設定にしてください。本製品を設定したパソコンを使用する場合は、設定を元に戻してから使用してください。

● セキュリティー（ESSID、WEP、WPA）の設定は正しいですか？

通信相手機器（アクセスポイント、ルーターなど）と同じ設定になっているか確認してください。

■設定ユーティリティーが起動できない

● 設定用パソコンの条件は、合っていますか？

「PART1 まず準備が必要」「設定に必要な情報は準備できていますか？」（P.6）をご覧になり、設定用パソコンの条件を確認してください。

● 設定用パソコンは、正しく設定されていますか？

「PART2 本製品の設定をする」「設定用パソコンの準備をしよう」（P.7）をご覧になり、設定用パソコンのネットワーク設定を確認してください。

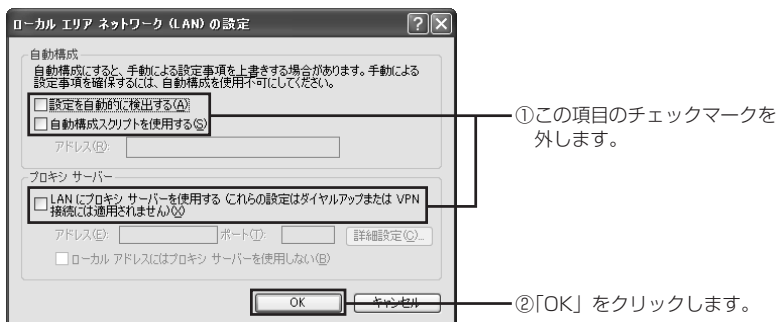
●プロキシサーバーを使う設定になっていませんか？

Webブラウザーでプロキシサーバーを使う設定になっていると、本製品の設定ページが表示されません。Webブラウザーを起動し、次の手順で、プロキシサーバーを使用しない設定にしてください。

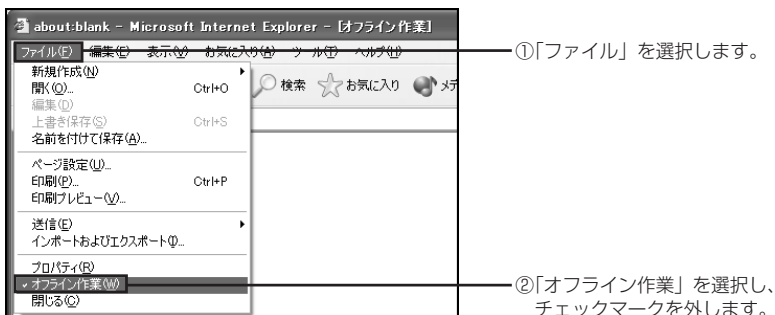
1　メニューから「ツール」－「インターネットオプション」をクリックします。

2　「インターネットオプション」画面で「接続」タブをクリックします。

3　［LANの設定］をクリックします。

4　「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」画面で「設定を自動的に検出する」「自動構成スクリプトを使用する」「LANにプロキシサーバーを使用する」のチェックマークを外します。

5　「インターネットオプション」画面で［OK］をクリックします。

● Internet Explorer が「オフライン作業」になっていませんか？

Internet Explorerを起動した際に、タイトルバーに「オフライン作業」と表示されている場合は、ネットワークに対して通信が行われていないため、本製品を正常に設定できません。メニューから「ファイル」－「オフライン作業」を選択し、チェックマークを外してください。

■本製品のパスワードを忘れてしまった

PART3の「システム初期化」〈Initスイッチを使う〉（P.30）をご覧になり、工場出荷時の状態に戻したあとで、再度パスワードを設定し直してください。パスワードの設定方法については、PART3の「パスワード」（P.27）をご覧ください。

注意! 本製品を工場出荷時の状態に戻すと、パスワードだけでなく、今まで設定していた情報がすべて消えてしまいますので再度設定しなおしてください。また、重要な設定をしている場合は、設定内容を書き残すなど、後で再設定できるように控えておくことをおすすめします。

■ファームウェアの更新に失敗した

本製品を工場出荷時の状態に戻してから、再度、ファームウェアの更新を行ってください。本製品を工場出荷時の状態に戻す方法は、PART3の「システム初期化」（P.29）をご覧ください。

注意! 本製品を工場出荷時の状態に戻すと、今まで設定していた情報がすべて消えてしまいます。再設定してください。また、重要な設定をしている場合は、設定内容を書き残すなど、後で再設定できるように控えておくことをおすすめします。

保証と修理について

■保証について

別紙の「製品保証規定」を必ずお読みになり、本製品を正しくご使用ください。無条件で本製品を保証するということではありません。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象となります。また、物理的な破損等が見受けられる場合は、保証の対象外となりますので予めご了承ください。本製品の保証期間については、保証書に記載されている保証期間をご覧ください。

■修理について

故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書を参照して、設定や接続が正しく行われているかを確認してください。現象が改善されない場合は、弊社ホームページに記載されている「修理依頼用紙」をプリントアウトの上、必要事項を記入したものと製品保証書および購入日の証明できるもののコピー（レシート等可）を添付し、製品（付属品一式を含む）をご購入された販売店へお持ちください。修理をご依頼の際は、以下の点にご注意ください。

※弊社へのお持ち込みによる修理は受け付けておりません。

- 修理期間中の代替機等は弊社では用意しておりませんので、予めご了承ください。
- 保証書に販売店の押印がない場合は、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。
- 製品購入日の証明ができない場合、無償修理の対象となりませんのでご注意ください。
- 修理依頼時の運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。

■有償修理について

有償修理の場合は、ご購入の販売店へお持ちください。下記ホームページに有償修理価格が記載されておりますので、予めご了承ください。

http://www.corega.co.jp/repair/

おことわり

- 本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
- 本製品の仕様またはそのご使用により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

弊社ホームページのご案内

弊社ホームページでは、各種商品の最新の情報、最新ファームウェア、よくあるお問い合わせなどを提供しています。本製品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

http://www.corega.co.jp/

製品に関するご質問は・・・

製品のご質問はコレガサポートセンターまでお問い合わせください。お問い合わせの際には、弊社ホームページ掲載の「お問い合わせ用紙」または下記の必要事項をご記入いただいた書面を用意して、メール、FAX、電話のいずれかでお問い合わせください。

■お問い合わせ先

corega　サポートセンター
Mail サポート：下記 URL からユーザー登録をした後、お問い合わせをしてください。

http://www.corega.co.jp/faq

TEL.03-3797-1085
FAX.045-476-6294

＜受付時間＞
10:00 ～ 12:00、13:00 ～ 18:00　月～金（祝・祭日を除く）

■必要事項

あらかじめ下記の必要事項を控えておいてください。

・製品名
・シリアル番号（S/N)、リビジョンコード（Rev.）
・お名前、フリガナ
・連絡先電話番号、FAX 番号
・購入店
・購入日付
・お使いのパソコンの機種
・OS
・お問い合わせ内容（できる限り詳しくお知らせください）
・ネットワーク構成